

すぐに祈りをきいて下さる神様

私たちの祈りや願いを聞かれ、誰にも言えない気持ちを聞いて下さる方、祈りに応えて具体的に必要を与えて下さる、「父なる神様」とはどのような方でしょうか。

クリスチャンとして信仰生活をしている者には、祈りにふれ、ご聖霊によって「父なる神様」として分からせられ、握らせて頂いているものがあります。

しかし聖書の中には、誤解しやすい箇所もあります。

祈るのを止める理由を、ある人はこんな風に言います。

「神様は何でもできる方だと知っているけど、こんな私のちっぽけなつまらない問題に、耳を傾けたいと思っておられないでしょう。神様にご足労頂くのは申し訳ない。」

また別の人は言います「お金を与えて下さいなんて祈ったら、神様は私のことをわがままで、欲深いと思うでしょう。信仰があるなら自分のことは後回しにすべきだと思う。」

この考えは間違っています。全くの嘘です。私たちの心に忍び込ませる悪魔の嘘です。神様は私たちにとっても関心を持っておられ、祈りを聞きたいと望んでおられるのです。

聖書の学び

I、失望しないで祈る、例え話 ルカ18：2～5

1、不正な裁判官について、考えてみましょう。 (v2)

①「神を恐れない裁判官」とは、どのような人でしょうか？

②「人を人とも思わない裁判官」とは、どのような人でしょうか？

2、やもめ について、考えてみましょう。

①当時の やもめ とは、どのような状況でしょうか。 (v3)

②「訴えられている。守って欲しい」とは、どのような状況が考えられるでしょう。

3、しつこさによる勝利について、考えてみましょう。(v4)

①彼女の考えはどのようなものでしょうか？ (v5)

②裁判官はどうしましたか？

Ⅱ、対比で、神様の愛を知る ルカ18：6～8

1、このイエス様のたとえ話は、真理を分かりやすく説明する話で、この箇所、正反対のものを上げて、対比を考えるための話です。

①私たちクリスチャンは神様にとって、どのような者でしょうか？

②天の父なる神様はどのような方なのでしょう？

2、ルカ18章1節と5節に、このたとえ話の真理があります。何を、イエス様は教えたかったのでしょうか？

Ⅲ、私たちの神様は、すぐに答えてくださる ルカ18：7～8

1、それでは、神様はどのような方でしょうか？

①ルカ18章7節：

②ルカ18章8節：

